

NEWS RELEASE

梶田 隆章 先生 ノーベル物理学賞受賞お祝いコメント

2015 年 10 月 6 日

浜松ホトニクス株式会社

本社：浜松市中区砂山町 325-6

代表取締役社長：晝馬 明(ひるま あきら)

受賞おめでとうございます。お祝いの言葉と共に、カミオカンデに続きスーパーカミオカンデ実験といった偉大な研究実験に弊社も参画できたことに感謝申し上げます。弊社の社員も共に喜び、人類にとって大きな仕事に参画できたことを改めて実感しています。

平成 10 年（1998 年）に岐阜県高山市において開催されたニュートリノ・宇宙物理国際会議において、梶田先生が発表された「スーパーカミオカンデによる大気ニュートリノ観測結果からニュートリノに質量あり」の報告が、各紙の第 1 面に大々的に掲載されたことを今でも記憶に鮮明に残っております。

スーパーカミオカンデ用には、カミオカンデに続き大型実験装置用として、さらに高性能化された 20 インチ光電子増倍管 R3600-05 が開発されました。平成 4 年（1992 年）から納入を開始し、50,000 トンの純水タンクに 11,200 本の改良型 20 インチ光電子増倍管が設置され、平成 8 年（1996）4 月から観測が開始されました。

この改良型 20 インチ光電子増倍管は、カミオカンデ用の特性をさらに改良したものでした。単一光子の検出能力・時間分解能・防水気密性の大幅な向上を狙ったもので、カミオカンデの実験開始後まもなく改良がスタートしました。これらの改良と実証には 5 年の歳月を掛け、スーパーカミオカンデの実現に備えました。改良にあたって、梶田先生の他、戸塚洋二先生（故人、元 高エネルギー加速器研究機構 機構長、元 東京大学宇宙線研究所 所長）、鈴木厚人先生（現 岩手県立大学学長、元 高エネルギー加速器研究機構 機構長）からの厳しい仕様や叱咤激励とご指導をいただき、完成することができました。

スーパーカミオカンデでは、大気ニュートリノと太陽ニュートリノの観測結果と、その後加速器を用いた人工ニュートリノ実験の結果の両面により「ニュートリノに質量有り」を結論付けました。

当社は、テレビの父といわれる高柳健次郎氏の研究室の門下生が創業しました。ラジオ放送開始の前年にテレビの研究に取り掛かるという人類未知未踏を追求する精神と、テレビの光電変換の技術を高柳氏から継承しています。創業以来、光と物質の相互作用についてのサイエンスを日常の業務の中で追求し、各分野に有用な光検出器を開発してきました。

これからも、人類未知未踏を追求する科学者を微力ながら支えていくつもりです。

記者会見のご案内

本件に関する記者会見を以下のように設定しました。ご出席いただければ幸いです。

日 時：明日、10月7日（水）午前10時から

会 場：浜松ホトニクス株式会社 駅前事務所 71 会議室 6階受付にお越しください。

浜松市中区砂山町 325-6 日本生命浜松駅前ビル TEL053-452-2141 代表

出席者：代表取締役社長 晝馬明、

代表取締役専務取締役電子管事業部長 竹内純一 他

この件に関するお問い合わせ先

■報道関係の方 浜松ホトニクス株式会社 広報室 野澤利行

〒430-8587 浜松市中区砂山町 325-6 日本生命浜松駅前ビル

TEL053-452-2141 FAX053-456-7888 E-mail:tnozawa@hq.hpk.co.jp

時間外は、携帯電話 090-7695-1616 へお願いします